|  |  |
| --- | --- |
| 整理番号 |  |

**2017年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」申請書（大学院・学部）**

(※文部科学省のホームページから様式をダウンロードして、作成してください)

【１．申請大学の概要】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①設置形態 | １　国立　　　２　公立　　　３　私立 | | | | |
| ②大学名  学長名 | （日本語）  （英　語） | | | | （大学番号） |
| （学長名） | | | |
| ③所在地 |  | | | | |
| ④事務担当者  　連絡先 | 所属部局・職名 |  | | | |
| 担当者氏名 |  | e-mailｱﾄﾞﾚｽ |  | |
| 電話・FAX番号 |  | | | |

【２．プログラムの概略】

|  |  |
| --- | --- |
| ①国費外国人留学生受入実績 | １　あり　２　なし |
| ②プログラムの名称 | （日本語）  （英　語） |
| ③実施研究科・専攻  　実施学部・学科 | 研究科・学部　　　　　　　　　　専攻・学科 |
| （所在地） |
| ④連携大学・研究科等  　連携大学・学部等  （ある場合のみ） |  |
| ⑤募集区分  　分野 | ①成長戦略　　②工学　　③医療　　④農学　　⑤社会科学　　⑥その他 |
| ⑥審査区分 | ①人文学・社会科学系　　②自然科学系　　③総合・複合系 |
| ⑦受入時期 | ①2018年4月　　②2018年9月　　③2018年10月 |
| ⑧教育課程 |  |
| ⑨研究分野 |  |
| ⑩プログラム要旨 |  |
| ⑪使用言語 | ①英語のみ　　②英語及び日本語　　③日本語のみ　④その他（　） |
| ⑫学業成績基準 | ①学業成績係数2.3以上　　②その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ⑬プログラムディレクター名 | 所属部局・職名 |
| 氏名 |
| ⑭受入予定学生数 | プログラム入学定員：　　人  （うち優先配置希望枠数：　　人） |
| ⑮担当教員数 | 合計 人 （うち専任：　　人、兼担：　　人、非常勤：　　人） |

【３．プログラムの詳細】

【３】は５ページ以内に収めて下さい。

|  |
| --- |
| **(１) プログラムの目的、教育・研究内容**  プログラムの目的、対象とする国・地域及び教育・研究内容について、下記の観点を踏まえて記載してください。  ○　プログラムの趣旨・目的と具体的な取組とに整合性があるか。特に対象としている地域・分野を定めている場合、プログラムの趣旨・目的との関連性があるか。  ○　大学の強みを活用した独自性のあるプログラムであるか。  ○　プログラムが定める修了生の進路ビジョンが、プログラムの目的に合致しているか。  ○　日本留学として特徴のある教育・研究内容を取り込んでいるか。  **※本申請書の直後に、カリキュラム（Ａ４タテ・様式自由・両面印刷）を添付してください。** |
|  |
| **(２) 学生の受入れ及び在学中を通した学習・研究の質の確保**  留学生選抜のための戦略的方針・仕組み、及び受け入れた留学生の学習・研究の質を維持・向上させるための方策について、下記の観点を踏まえて記載してください。  ○　優秀な留学生を獲得するための方針・仕組み（募集戦略・方法、入試内容など）があるか。  ○　私費留学生等を確実に獲得できる体制となっているか（留学生獲得戦略の策定、協定校受入れ計画など）。  ○　標準修業年限に学位を修得させるための効果的な指導体制が取られているか。  ○　在学中を通して優秀な留学生の学力・研究力を維持・向上させるための方針・仕組み（成績管理など）があるか。 |
|  |
| **(３) 実施体制**  プログラムの実施体制及び留学生に対する学習・生活支援等の各種の支援体制について、下記の観点を踏まえて記載してください。  ○　プログラム修了留学生との継続的なフォローアップ体制がなされているか。  ○　留学生に対して将来ビジョンを示し、そのためのキャリア教育、支援体制が整備されているか。  ○　プログラムの実施、評価等に関する体制が整備されているか。  ○　日本での生活等に関して留学生に対するケア体制ができているか。 |
|  |
| **(４) プログラムの実現可能性・持続可能性**  プログラムの実現可能性・持続可能性について、下記の観点を踏まえて記載してください。  ○　外国人留学生の受入れ実績や既設コース等の実施成果を踏まえた、実現可能性・持続可能性の高い計画が構築されているか。  ○　特に、過去に「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されたプログラムについては、申請当初の計画・目標が十分に達成されたか。 |
|  |

【４．既設のコースについて（これまで特別プログラムに採択されたもの、留学生受入れの取組みなど）】

【４】～【６】は合わせて２ページ以内に収めて下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| ①開設年度等 | 年度  （20XX年度に採択された「○○プログラム」） |
| ②既設コース等の留  　学生受入れ状況 | (1)応募状況（過去5ヶ年）  (2)入学者の状況（過去5ヶ年） |
| ③既設コース等に  　よる学位取得状況  （過去3ヶ年） |  |
| ④これまでの修了者  総数 | 人 （うち研究／学部留学生　　　　　　人） |
| ⑤修了者の主な進路 |  |
| ⑥修了者の修了時  　学業成績係数 |  |
| ⑦見直し又は改善を図った点 |  |
| ⑧文部科学省等の政  府系資金及び民間  資金の獲得状況 |  |

【５．留学生の在学状況等】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①在学留学生数 | 人（2016年5月1日現在） | | | |
| ②留学生の在学状況  （国費、私費ともに  各年度5月1日現在） |  | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 |
| 国費外国人留学生数 | 人 | 人 | 人 |
| 私費外国人留学生数 | 人 | 人 | 人 |
| 除籍・退学者数  （除籍・退学の主な理由） | 人（2013～2015年度にかけて）  （ ） | | |
| ③大学等間交流  　協定実施状況 |  | | | |

【６．その他】

「世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略」(平成25年12月18日)で整理されている重点地域（９地域）のうち、申請プログラムで外国人留学生の獲得が最も期待される地域を１つ選んでください。特にない場合は「特になし」を選んでください。（該当する選択肢の□を■に置き換えてください）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| □ | ①東南アジア（ASEAN） | □ | ④中東 | □ | ⑦南米 |  |  |
| □ | ②ロシア及びCIS諸国 | □ | ⑤南西アジア | □ | ⑧米国 |  |  |
| □ | ③アフリカ | □ | ⑥東アジア | □ | ⑨中東欧 | □ | ⓪特になし |